

# 福祉生活病院常任委員会資料

(令和4年8月19日)

## 【件名】

- 鳥取砂丘こどもの国魅力向上に向けた検討会の開催結果について  
(子育て王国課) . . . . 2
- 令和4年度鳥取県における少子化対策等に関するアンケート調査結果について  
(子育て王国課) . . . . 3
- 保育の魅力発信フェスの開催について  
(子育て王国課) . . . . 4
- 児童相談所の体制強化について  
(家庭支援課) . . . . 5
- 令和4年度第1回新生公立鳥取環境大学運営協議会の開催結果について  
(総合教育推進課) . . . . 6

子育て・人財局

## 鳥取砂丘こどもの国魅力向上に向けた検討会の開催結果について

令和4年8月19日  
子育て王国課

令和5年5月に迎えるこどもの国の開園50周年を好機とし、こどもの国の魅力向上と50周年への機運醸成に向けて、施設利用者及び関係者から広く意見を聴くための検討会を開催したので、その概要を報告します。

### 1 開催概要

#### (1) 日時

第1回：令和4年6月20日（月）午後3時から4時30分まで

第2回：令和4年7月4日（月） //

#### (2) 出席者

施設利用者（保育施設職員、保護者）、子育て支援団体、観光団体、PTA、施設管理者：計8名

### 2 主な意見

テーマ	意見の概要
施設全体 (遊具・イベント等)	<ul style="list-style-type: none"><li>・遊具は充実している。これまでも遊具を更新した翌年は入園者数が増加しており、今後も定期的な遊具更新が必要。</li><li>・自然散策できるコースがあるため、スタンプラリー等の広大な敷地を活かす取組ができればよい。</li><li>・保護者がゆっくりできるような東屋や休憩舎がもっとほしい。</li><li>・飲食スペースが少ないことが気になる。イベントのある休日のみでも屋外で飲食できるスペース（キッチンカー等）を設置してはどうか。</li><li>・おむつ替えの案内を見つけることができなかった。施設内の標示（サイン）が充実すればより利用しやすい施設になる。</li><li>・他の施設とのすみ分けをして、ここにしかない目玉を作してほしい。</li></ul>
50周年に向けた 機運醸成・記念イベント	<ul style="list-style-type: none"><li>・子どもに人気のキャラクターショーを開催してはどうか。</li><li>・写真展示等、昔のこどもの国を思い出すことができるもの、体験できるものがあれば大人も一緒に楽しむことができる。</li><li>・イベント当日にこどもの国まで来ることのできない中・西部の方も一緒に50周年を祝うことのできるような仕掛けができれば面白い。</li><li>・記念イベント時のみの一時的な盛り上がりで終わらないよう、継続していくための取組検討も必要。</li></ul>
周辺施設と連携した取組	<ul style="list-style-type: none"><li>・パラグライダーを体験した際、子どもと一緒に楽しむことができた。周辺のアクティビティ等と連携し、入園料割引や案内があれば足を延ばしてみようと思う人が増えるのではないかと。</li><li>・砂丘全体を活かしたクイズラリーは親子で楽しめる。</li><li>・こどもの国を含む砂丘全体で、年齢（小学生・中学生・大人）に応じたコース、体験プランを上手く情報発信することができれば、来た人ももっと楽しむことができる。</li></ul>
こどもの国の将来像	<ul style="list-style-type: none"><li>・ここに来たらこの年齢の子どもは思い切り遊ぶことができる、という点を打ち出し、県内外問わず選ばれる施設となる必要がある。</li></ul>

### 3 今後の予定

- ・意見を参考にしながら、来年度実施を予定している50周年記念イベントや周辺施設と連携した取組内容について、引き続き検討を進めていく。
- ・次年度以降も継続して検討が必要な整備等については、指定管理者とも協議し、より良い施設となるよう検討を行っていく。

# 令和4年度鳥取県における少子化対策等に関するアンケート調査結果について

令和4年8月19日  
子育て王国課

県の少子化・子育て支援対策の基礎資料とするため実施した「鳥取県における少子化対策等に関するアンケート調査」（令和4年6～7月）の結果の概要について報告します。

## 1 調査の概要

- 目的：県民の少子化・子育て支援対策への要望や結婚・子育てに対する意識等を把握し、効果的な施策に反映するための基礎資料とする（前回調査は平成30年度）
- 対象：鳥取県に居住地がある者
  - ・鳥取県県政参画電子アンケート会員に登録している者
  - ・鳥取県子育て応援パスポートメールマガジンの受信者
  - ・えんトリー（とっとり出会いサポートセンター）の会員に登録している者
  - ・県内企業従事者、大学生等
- 調査期間：令和4年6月24日（金）～7月18日（月）
- 調査方法：電子メールで調査依頼を行い、県のホームページ上で調査票へ回答
- 回答者：計619人〔男性：306人(49.4%)、女性：307人(49.6%)、その他：6名(1.0%)〕

## 2 主な調査結果

- 結婚・交際につながる出会いは、「職場（アルバイト含む）」37.4%(前回31.7%)、「友人や兄弟姉妹を通じて」17.9%(前回19.3%)が多く、前回同様、身近なことがきっかけとなることが多い。
- 一方、独身者のうち、81.4%が「結婚したい」と回答し、公的な出会いづくりを望む方も66.9%(前回74.1%)と多い。
- 結婚していない理由は、「適当な相手に巡り合わない」が55.9%と最も多く、次いで「自分に経済力がない」、「自分の自由になる時間がなくなるから」、「異性と上手く付き合えない」が多い。
- 理想の子どもの数では、3人以上が、62.8%（前回55.0%）と多子を望む者が増加する一方で、現実を持てる子どもの数は「2人」が51.2%と前回(47.3%)同様に最も多く、「0人」も7.6%（前回3.4%）と増加し、子どもを持たない・持たないを選択する者の増加が顕著であった。
- 理想より現実を持てる子どもの数が少ない理由として、「経済的負担が大きい」が64.6%(前回61.5%)、「仕事と子育ての両立が難しい」が43.3%(前回38.5%)を占めた。
- 子育てに係る経済負担については、前回と比較して「保育所・保育園の保育料」20.7%（前回45.3%）が大幅減となった一方で、「大学・大学院に必要な費用」72.4%(前回64.6%)や「高校就学期に必要な費用」26.2%（前回24.2%）が増加した。
- 出産や子育てについて、「十分な配慮がある」とした職場が「出産」は49.9%（前回35.7%）、「子育て」は44.9%（前回27.7%）と職場の配慮が進んできている。
- しかし、結婚、出産を機に仕事を辞めた者のうち、「仕事を続けたかったが、仕事と家事・育児の両立が難しい」とした方が38.2%（前回28.9%）あり、その理由としては「時間外労働の負担が大きいなど勤務時間と生活時間が合わなかった」が51.6%（前回40.0%）を占めている。
- 今後の子育て支援策として、「妊娠・出産しても働き続けられる職場環境の整備」43.0%(前回46.8%)、「仕事と家庭の調和がとれた働き方実現のための職場環境の整備」40.5%（前回42.4%）が多くを占め、更なる職場環境の整備を求める声大きい。

## 3 今後の取組

アンケート集計結果については、性別・年代毎の集計、傾向について詳細に分析し、子育て王国とっとり会議において議論の上、今後の少子化対策（結婚・出会い支援、子育て支援、仕事と子育ての両立支援等）を検討する。

### 【今後のスケジュール】

- |         |                                    |
|---------|------------------------------------|
| 令和4年8月末 | ホームページで結果の概要を公表                    |
| 9月上旬    | 子育て王国とっとり会議開催、アンケート結果を踏まえた少子化対策の検討 |
| 10月～    | 令和5年度予算要求                          |

# 保育の魅力発信フェスの開催について

令和4年8月19日  
子育て王国課

保育施設への就職を検討されている学生や保育士有資格者（潜在保育士）等を対象に、県内保育施設の職場の特徴や仕事の魅力を伝える「保育の魅力発信フェス」を開催しましたので、その概要を報告します。

## 1 日時・参加者数等

	東部会場	西部会場
日時	7月16日（土）午後1時45分～4時	7月23日（土）午後1時45分～4時
場所	県立福祉人材研修センター	米子コンベンションセンター
参加法人数	9法人（2法人）	10法人（3法人）
参加者数	18名（1名）	18名（8名）

※ カッコ内はコロナウイルス感染拡大等によりキャンセルとなった法人・参加者の数  
（参加法人数、参加者数の外数）

## 2 開催内容

### （1）参加者による出展ブース訪問（20分×4回）

若手保育者や法人担当者が、ブースを訪問した学生等に対し、日頃の保育内容や職場の魅力、採用情報等を伝えました。

### （2）資料設置コーナー・相談コーナー

会場内には、保育に関するパンフレット、チラシ等の設置コーナーのほか、鳥取県保育士・保育所支援センター職員による相談コーナーを設け、参加者のブース訪問等をサポートした。

※令和3年度はコロナウイルス感染拡大等によりオンライン開催となり、対面での開催は本年度が初となった。



## 3 参加者の声

### 【法人・保育施設】

- ・コロナ禍の中、学生と対面で直接話す機会をいただいたことに感謝したい。顔を見て、学生の反応が見えるのはよかった。
- ・保育士や職員も、初心を振り返る良い機会となった。学生から選んでもらえる職場づくりを考えていきたい。



### 【一般参加者・学生】

- ・保育士の方から直接体験談を聞いてよかった。
- ・実際の活動風景等を知ることができ、よりその施設に就職したい気持ちが高まった。
- ・少人数の参加だったので、じっくり話を聞いてよかった。
- ・質問しやすい雰囲気、気になることを聞くことができた。



## 4 主催・後援

【主催】鳥取県、鳥取県保育士・保育所支援センター（（社福）鳥取県社会福祉協議会）

【後援】鳥取県子ども家庭育み協会、鳥取県私立幼稚園・認定こども園協会、鳥取県児童福祉入所施設協議会、鳥取短期大学、鳥取大学

### 〔参考〕「鳥取県保育士・保育所支援センター」の概要

県内の保育士確保を目的とし、学生や潜在保育士等の就職支援、保育士の職場定着促進、保育情報の発信等を行っている。（設置場所：（社福）鳥取県社会福祉協議会内、設置主体：県（委託事業））

#### 《事業内容》

### 1 保育の出前講座

県内の中学生や高校生等を対象に、若手保育士等が先輩として学校等を訪問し、仕事のやりがいや葛藤、鳥取で働く魅力等を伝える。（令和4年度は対象を中学生にも拡大して実施中です。）

### 2 保育のおしごと体験

県内の高校生や潜在保育士等を対象に、保育施設での仕事体験実習を実施します。

（高校生を対象とした体験は、夏休み等を活用して体験可能日を決定）

※いずれの事業も、年間を通じて適宜調整・実施している。

## 児童相談所の体制強化について

令和4年8月19日  
家庭支援課

令和5年4月に子ども家庭庁が設置され、子ども基本法が施行されるとともに、令和6年4月には改正児童福祉法が施行されるなど、子どもや子育て世帯への支援体制が強化されている状況を踏まえ、児童福祉の専門機関である児童相談所の体制強化を図ることとしたので報告します。

### 1 背景

- 各府省庁に分かれている子ども政策を一元的に企画、立案、総合調整を行う「子ども家庭庁設置関連法」が成立（6/15）し、令和5年4月に子ども家庭庁が内閣府の外局として設置される。
- 日本国憲法及び児童の権利に関する条約の精神に則り、子どもの権利について総合的に規定した「子ども基本法」が成立（6/15）し、令和5年4月に施行される。
- 「児童福祉法等の一部を改正する法律」が成立（6/8）し、改正法は一部を除き、令和6年4月に施行される。児童虐待の相談件数の増加など、子育てに困難を抱える世帯がこれまで以上に顕在化してきている状況を踏まえ、子育て世帯に対する包括的な支援のための体制強化を行うもので、「子ども家庭庁」での重要な取組となるもの。
- 令和元年の米子児童相談所施設内虐待事案を踏まえ、これまでも児童相談所の体制強化を図ってきた。こうした中、令和4年2月に米子児童相談所管内における虐待事案に係る母親の逮捕事案が発生し、現在、その検証を行っている。検証はしっかり行うこととするが、児童相談所のさらなる体制強化が必要である。

### 2 今後の取組

#### (1) アドボケイト（意見表明員）や弁護士による鳥取県版アドボカシーの導入

- ・秋に開始する試行結果を踏まえ、子どもの措置等を行う場合に、子どもの意見表明のサポートや代弁をするとともに、必要な救済に繋げることができる仕組みを創設する。

#### (2) 虐待予防に向けて早期に必要な支援につなげる取組を強化

- ・市町村における児童及び妊産婦の福祉に関する包括的な支援を行う「こども家庭センター」の設置を推進し、児童相談所や学校、保育所、市町村等関係機関の連携強化を図る。（7/29 に市町村に設置を要請）

#### (3) 親子再統合事業、妊産婦等生活援助事業等の改正児童福祉法に盛り込まれた新規事業の実施

- ・一時保護や施設の入所措置等の解除等に際し、在宅指導措置を含め、児童相談所が引き続き関わっていくこととなるが、親子関係の支援についても強化する。
- ・予期せぬ妊娠等により身近に頼れる人がいない困難を抱える妊産婦等に対し支援を行う。

#### (4) 子ども・若者支援地域協議会の設置促進及び要保護児童対策地域協議会との連携強化

- ・これまでの児童虐待等に係る要保護児童対策地域協議会の関係のみならず、18歳という年齢で支援が途切れないようにするため、子ども・若者支援地域協議会の設置促進と連携強化を図る。

#### (5) 児童相談所の体制強化（総務部主導で検討）

- ・児童相談所へのスーパーバイズや児童相談所間の連携強化を図るとともに、児童相談所の体制・機能を抜本的に改善するため、総務部が主導して組織・定数の見直しを含めた検討を行う。

## 令和4年度第1回新生公立鳥取環境大学運営協議会の開催結果について

令和4年8月19日  
総合教育推進課

令和4年度第1回新生公立鳥取環境大学運営協議会を開催し、地方独立行政法人法（以下「法」という。）に基づく財務諸表等の承認、大学の業務の実績評価に関する報告及び、大学からの近況報告が行われました。

1 日時 令和4年8月9日（火）13:30～14:30（オンライン実施）

2 出席者 〔新生公立鳥取環境大学運営協議会〕  
（会長）平井知事（副会長）深澤鳥取市長（委員）中西子育て・人財局長、高橋鳥取市企画推進部長  
〔公立大学法人公立鳥取環境大学評価委員会〕中山委員長  
〔公立大学法人公立鳥取環境大学〕  
江崎理事長兼学長 西山副理事長 小林理事兼副学長 田中理事兼事務局長

### 3 内容

#### (1) 協議事項

##### ①令和3年度の財務諸表の承認について（法第34条第1項）

公立大学法人公立鳥取環境大学（以下「大学」という。）の令和3年度の財務諸表について、会計処理の適正性、決算状況を確認の上、承認を行った。

〔決算内容の概要〕

学修環境の充実を図るため、ICT機器やネットワークを整備し、リモートによる学びの継続に向けた取組の工夫・事業計画の見直しや経費削減努力、志願者・入学者の堅調な確保による安定的な収益の維持により、約32百万円の利益を計上している。

##### ②令和3年度の利益処分承認について（法第40条第3項）

事業計画の見直し・工夫による経営努力により生じた利益について、目的積立金とし、翌年度、中期計画で定めた剰余金の使途（教育研究の質の向上等）に活用したい旨の申請が大学からあり、承認を行った。

〔承認額〕 32,337,166円（当期末処分利益全額）

#### (2) 報告事項

##### ①令和3年度の業務実績評価について（法第78条の2第5項、9月議会報告事項）

大学の令和3年度の業務実績評価について、評価委員会の中山委員長から設立団体の長へ報告が行われた。

##### 【評価内容】

＜評価＞ 5段階（S, A, B, C, D）の中間にあたる「B（年度計画を概ね達成）」

＜評価のポイント＞

- ・学生からも高く評価されている学部を超えてプロジェクト研究を行う人間形成教育の取組や、副専攻プログラムの導入により、「大学教育の質の向上」に積極的に取り組んだ。
- ・県内に限定した推薦型選抜等の入試制度改革により県内入学率は22.6%（R3年度21.3%）に高まり、全体としても志願倍率4.2倍、入学定員充足率は107.7%で多くの志願者・入学者を集めるなど、安定的な経営確保に努めている。
- ・学生同士の支援体制ピアサポーター制度等を整え、学生の学修面や生活面における不安を解消するなど、継続的に学生支援に努めた。
- ・学生だけでなく教職員やその家族、近隣企業等を対象に職域接種を実施し、地域におけるコロナワクチンの早期接種に貢献した。

＜取り組むべき主な課題＞

- ・各種関係機関、産業界等と連携し、県内就職率の向上を図ること（県内就職率16.5%、R2年度14.3%）。
- ・競争的外部資金の獲得に向けた支援制度や業務効率化等の取組を通じたサポート体制を強化すること。

## ②第2期中期目標期間に係る業務実績（見込）評価について（法第78条の2第5項、9月議会報告事項）

第2期中期目標期間（平成30年度から令和5年度まで）終了時に見込まれる業務実績評価について、評価委員会の中山委員長から設立団体の長へ、報告が行われた。

### 【評価内容】

＜評価＞5段階（S, A, B, C, D）の中間にあたる「B（中期目標を概ね達成する見込み）」

#### ＜評価のポイント＞

- ・教育内容の充実や多様な学生ニーズに対応した学生支援、地域等と連携した取組の促進など、学長のリーダーシップの下、中期目標の達成に向け計画を着実に推進している。
- ・学生一人ひとりに応じた丁寧な指導、学生同士の支援体制の整備など、学修環境の整備に努めるとともに、大学の基本理念にも沿ったSDGsの取組を進める等、様々な社会の動きに迅速に対応している。
- ・令和3年度入学生から定員を増やしたが、県内向け推薦型選抜を含む新たな入試制度の導入等により、県内入学率は着実に伸長し、定員充足率は順調に推移するなど、引き続き安定的な大学経営に取り組んでいる。

#### ＜取り組むべき主な課題等＞

- ・18歳人口の急減期を見据え、大学だけでなく設置者や関係機関、産業界等を巻き込んだ選ばれる魅力ある大学づくり、「環境」をテーマとした強みを明確に打ち出すなどの将来を見通した大学運営に取り組むこと。
- ・大学院において長期的に定員の未充足が続いているが、望まれる教育・研究環境などのニーズを探り、将来を見据えた大学院の在り方、入学者増加に向けた取組を検討すること。

## ③公立鳥取環境大学の近況について

大学から、以下の内容等に報告が行われた。

### 〔SDGs事業〕

令和4年度は、教育・研究・地域連携活動等様々な取組を実施（予定）している。

#### ・SDGsカフェ

学生が主体的に身近なテーマでSDGsを自分ごととして捉えてもらうことを目的に開催する。

第1回 6月23日開催、テーマ「災害と人権～命を守る避難所とは～」

#### ・鳥取商工会議所工業部会との連携事業

企業と教員及び学生が共同で、企業の環境分野等に関する課題解決を図る。

参加企業：マルサンアイ鳥取(株)、菌興椎茸協同組合他

#### ・SDGsオンライン講座

教育研究活動から生まれるSDGsに関係した教育コンテンツを作成・提供する。

5講座（動画）作成予定。

### 〔新型コロナウイルス感染症対策等〕

- ・新学期を迎えるにあたって、無料の抗原検査を学内で実施し、575名の学生、教職員が受検した。

実施日 4月5日～8日（ガイダンス期間中）

- ・地域における感染拡大防止、授業や学生活動の正常化を目指し、職域接種（3回目）を実施した。

実施日 4月23日、24日、5月14日

接種人数 555名（近隣企業従業員等含む）

## (3) 設置者の主な意見

- ・学長のリーダーシップの下全学で対応され、県内入学率は伸び、成果は上がっている。県内就職については、コロナ禍の社会情勢もあり難しい状況が続いているが、大学だけではなく関係機関や産業界と連携した取組が必要であり、課題分析の上、改善するよう進めていただきたい。
- ・大学院は学内進学以外も重要であり、学び直しや、社会に出てもう一度環境について学びたいという人たちにアピールし、従来の殻を破り、環境大学大学院が面白そうと関心を持ってもらえるような取組を検討いただきたい。